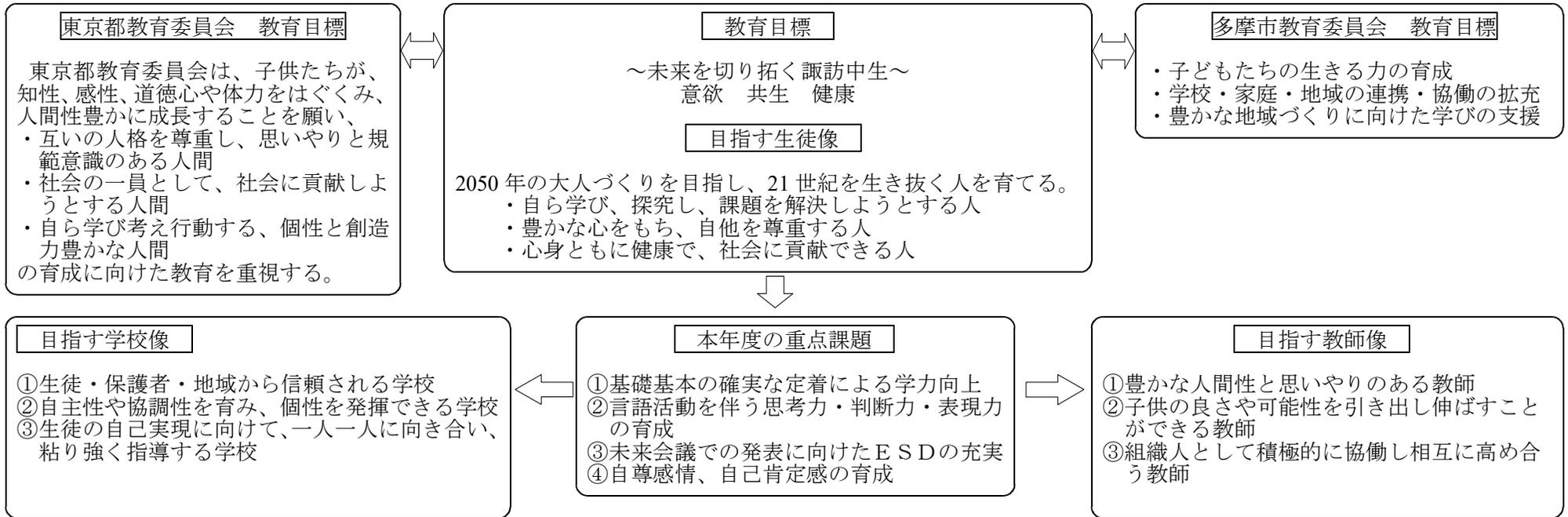


令和5年度 多摩市立諏訪中学校 学校経営方針



達成目標のための重点方針・具体策等	
重点方針	具 体 策 等
1. 学習指導の充実	①単元指導計画を元に授業のねらいを明示し、ICT機器を活用した振り返り活動を行い、知識・技能の定着を図る。 ②生徒自身が課題を設定し、課題解決の過程や結果の発表を通して「思考力、判断力、表現力」を身に付けさせる。 ③ICT機器のアプリを活用するなどの課題等の工夫をして、家庭学習の習慣の定着を図る。 ④全学年において、数学の少人数習熟度別指導、英語の少人数指導を行い個に応じた指導を行う。 ⑤全教員体制による夏季補充学習会を実施し、基礎学力を向上させる。
2. 豊かな心の育成	①心の通った生活指導を通して、安全・安心でいじめがなく、個性を發揮できる教育環境づくりを行う。 ②教育相談的な手法を通して、生徒の気持ちの言語化と生徒の気持ち・意見を大切に指導を行う。 ③教育活動全般を通して、生徒の自主性・協調性を育み、明るく落ち着いた学校作りを行う。 ④特別支援教育の充実を通して、生徒の個性を尊重し、生徒同士のより良い人間関係作りを行う。 ⑤日頃の教育活動を通して、協力する大切さを実感させ、自尊感情・主体的意欲へとつなげ、自己肯定感の育成を図る。
3. 進路指導等の充実	①ESDの体験的な活動を通して、実践的な活動をする事により、自立した人間として生きて行くための力を育成する。 ②人権教育や道徳教育の充実を図り、人・社会・自然との関係を築き、課題を解決をし、社会に貢献できる人作りを行う。 ③外部人材や地域の教育力を活用し、生徒一人一人が夢や志を持てるようにし、それを実現できる態度の育成を図る。
4. 地域・家庭との連携	①地域行事等への生徒の参加を通してボランティアマインドを育てる。 ②地域の小学校との連携行事である「リトルティーチャー」や授業見学等を行う。 ③SNS学校ルール・家庭ルールを元に、インターネットやSNSの正しい活用を身に付けさせる。

- 教員研修
- 職場の指針

「令和5年度東京都教員研修計画」に基づく研修を行う。

- ①チームワーク（協働）
- ②ネットワーク（時代の要請・変化に応える情報収集と対応）
- ③フットワーク（すぐ動く）